

広島県大竹市の取り組み紹介

「あったか阿多田つくろう会」サロン実施等の取り組み

○阿多田島の状況

阿多田島は、広島県大竹市の小方港から、フェリーで35分のところに浮かぶ人口295人、高齢化率38.31%(平成28年4月現在)の離島です。

○「あったか阿多田つくろう会」の取り組み

島内にある阿多田漁業協同組合の施設「漁村センター」の1室を会場に、10:00～15:00の間、「あったかあたたサロン」を開催されています。

27年8月の立ち上げ当初は、月1回の開催だったこのサロンですが、住民、市、施設管理者である漁協の間で話し合いを重ね、現在は週2回行われています。

さらに、「いきいき百歳体操」を実施され、地域の方の通いの場づくりと合わせ、介護予防の取り組みを進めておられます。利用者の安全確保のため、市の補助を受け、阿多田漁村センターの入口、トイレの補修を行うなど、より通いやすい環境整備もされています。



入口のスロープ

体操の様子



【阿多田島の地域力を発揮する熱意】

自治会長の「全世帯の思いを確認する」という熱い思いで、自治会や民生委員が回収を行い、全世帯を対象にアンケートを実施されたそうです。その結果を踏まえて、「あったかあたたサロン」が始まりました。

また、阿多田漁業協同組合では、左記のとおり、サロンの会場として、施設の1室を老人集会所として貸し出されているほか、「あったか阿多田つくろう会」の構成員にも名を連ねられ、積極的に阿多田島の地域づくりに取り組んでおられます。

大竹市では、これら地域の熱意を受け止め、島内に常駐職員は配置されていないものの、島内の民生委員と連携し、必要に応じて現地へ赴き、必要な支援を行うほか、以下のような取り組みも行っています。



○大竹市の取り組み(一部)

①集会所への補助金の交付

大竹市では、左で紹介している「あったかあたたサロン」のような住民主体の取り組みを後押しするため、老人集会所管理運営費の助成事業等を行っています。

②大竹市多職種連携協議会

市内及び近郊に居住又は勤務している保健・医療・福祉に関わる専門職で構成されています。

定期的な研修会を年4回開催されているほか、平成27年5月から毎月2回、「巡回よろず相談所」の取り組みで、市内の各地域を回り、健康・介護・生活・住まい等についてのミニ講座や相談会を開催しています。